

平成26年度 盛岡大学附属高校 学校自己評価及び学校関係者評価書

1. 今年度の重点目標・具体的な取り組み

| | |
|--------------|---|
| 学校経営方針 | キリスト教主義に基づいて教育を行い、愛と奉仕の精神を体した人格を形成する。 |
| 本年度学校重点目標 | 1)生徒の豊かな成長を保障する場としての学校づくりを進める。 2)入学者の定員を確保すると共に、さらなる授業・部活動の充実を図り、全員の協力で生徒一人ひとりを育てる。 |
| 本年度の具体的な取り組み | 1)定員を確保し、適切な教育環境を維持する。 2)活力あるPTA活動の推進とともに、学習活動の環境を確保する。 3)学力向上に努める。 4)規律ある学校生活を実現する。 5)安定した進路実績を実現する。 6)心身の健康に問題を持つ生徒の早期発見に努め、支援が必要な生徒への対応に努める。 7)地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。 |

本年度の学校自己評価の結果

| | 重点目標 | 具体的方策 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------------|--|--|---|---|----------|---------|
| | | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 1.学校経営 | 150名の入学定員を確保し、安定した教育環境の維持・発展を図る。 | 専願推薦入学者90名、一般入試志願者450名を確保する。 | A | ・昨年度の大学・短大進学率70%の実績を前面に出し本校の特徴と魅力を訴えたい。・入試制度やオープンスクールの実施方法に検討を加えたい。 | A | A |
| 学校関係者評価者による意見 | | | データに基づいた取り組みは素晴らしい。努力が結果として表れている。面倒見が良いので、生徒・保護者からは大きな支持を頂いている。 | | | |
| 2.総務・渉外 | 活力あるPTA活動の実施とともに、学習活動の環境を確保する。 | PTA活動の活性化をはかる。委員会毎の目標を設定する。 | A | PTAの方々に参加しやすい雰囲気作りや、魅力的な企画を提案していきたい。 | A | A |
| | | 学習環境の確保に努め、避難訓練・防災教育の充実を図る。 | A | 復興防災講話は今後も実施し、生徒の意識を高めたい。学習環境についても出来る範囲で取り組んでいきたい。 | A | A |
| 学校関係者評価者による意見 | | | 保護者の絆が強いのが魅力である。PTA活動は学校の協力やサポートのおかげで、活発に行われている。防災教育については、引き続き取り組んで欲しい。 | | | |
| 3.学習指導 | 自ら学ぶ意欲を育て、学習する習慣を身につけさせる。 | 各教科週2回家庭学習課題を出し、家庭学習の定着を図る。 | B | 意義とねらいを再確認し、家庭学習を充実させ学力向上を目指したい。 | B | B |
| | | 定期考査前に学業不振者に補習を実施する。再考査に向けた取り組みを強化する。 | B | 欠点が1科目取得の生徒を減少させたい。家庭学習課題に真剣に取り組めるような指導を講じていきたい。 | B | B |
| | 教員の授業力向上を図り、生徒の学力向上に努める。 | 授業交換や教科内授業等により可能な限り自習時間を無くし、授業時間の確保に努める。 | A | 更に、来年度も野球大会、修学旅行、インターシップなどの行事に対応した臨時時間割を作成して対応していきたい。 | A | A |
| | | 校内研修会の充実と校外研修の積極的参加に努める。観点別評価を推進する。 | A | 各教科内で研修を深め、「観点別評価」の取り組みを強化していきたい。また、アクティブラーニングの導入も検討していきたい。 | A | A |
| 学校関係者評価者による意見 | | | 個別の対応が丁寧に行われていると思いました。家庭学習を定着させ、自ら学ぶ意欲を高めるにはどうしたら良いのか、更なる検討をお願いしたい。 | | | |
| 4.生徒指導 | 基本的な生活習慣の確立、学習規律の徹底を図り、生徒指導上の問題行動を一層減らす努力をする。(未然防止と、事後指導の徹底を図る。) | 「チェックシート」を利用し、遅刻を昨年より減少させる。 | A | 学年集会、各クラス、ホームルームでの啓蒙指導をしていきたい。 | A | A |
| | | 頭髪・服装についてのマナーアップ運動を通年で実施する。 | A | 全校集会、学年集会などでも指導していきたい。 | A | A |
| | | 部活動参加率を男子80%、女子70%に高める。2年次以降の退部者を減少させる。 | A | 担任、クラブ顧問に協力してもらい、部活動の意義について指導していきたい。 | A | A |

| | | | | | | |
|---------------|---|--|---|--|---|---|
| 学校関係者評価者による意見 | | 遅刻指導、頭髪、服装指導について、マナーアップの取り組みが功を奏していると思われので今後も継続を望みます。いじめの問題は、非常に難しいですが、しっかり取り組んで欲しい。 | | | | |
| 5.保健課 | 規則正しい基本的な生活習慣を確立し、自ら健康維持・増進に努めるよう指導する。 | 3年間行った生活についてのアンケート結果に基づき、平日の就寝時間・睡眠時間に目標設定をする。 H26目標 H23年 H24年 H25年 就寝12時以降 35%以下 39.8% 40.1% 37.2% 睡眠6時間未満 30%以下 33.1% 34.7% 32.0% | A | ・来年度も今年度の実施内容を継続する。 ・遅くても9時までには帰宅し、12時前に就寝できるよう、部活顧問にお願いする。 ・部活動引退後の生活指導も部活顧問と担任で協力して行ってもらう。 | B | B |
| 学校関係者評価者による意見 | | 教育の場である以上、睡眠に関して問題とするのは理解できるが、家庭事情もあり、困難もあると思う。保護者への情報発信を多くして、家庭と連携をとり、健康の意義管理に努めて欲しい。 | | | | |
| 6.相談課 | 生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培い、たくましく生きていけるように実践能力を育成する。サポートを必要とする生徒に対し、身近な助言者として相談活動を実施する。 | 相談課と不適応生徒指導員は学年会や教師相互の連携、情報を密にし、不登校生の早期発見、改善に努める。 | B | 一般生徒に対しては、状況把握に努め、早期に対応する。最初の相談は、教員であることを自覚する必要がある。 | A | A |
| | | 学校カウンセラーの活用により、問題を抱える生徒・保護者の安定につなげたい。 | A | 次年度も学校カウンセラーの継続が望ましい。 | A | A |
| 学校関係者評価者による意見 | | 個に応じた支援の取り組みは、時間がかかるけど本来的な考え方であり、成果もあり、大変すばらしい。サポートを必要とする生徒への専門のカウンセリングは継続して欲しい。 | | | | |
| 7.進路指導 | 自分を知り、自分を生かす進路の発見、それを可能にする基礎的な学力と実践的行動力を育成する。 | 盛岡大学・同短期大学部をはじめとする上級学校への進学率の8割以上を目指す。 | B | 教進コースの児童教育科の志望者を増やすようにしたい。また、調理師志望の生徒の盛岡調理師専門学校への入学を勧めたい。 | A | B |
| | | 進学コース・教進コースにおいても、センター試験を受験させ特進コースと合わせて、国公立大学進学希望者4割の合格を目標とする。 | B | 進学・教進コースの国公立大学の合格を得るためには、小論文以上に数学の演習が必要だと考えられる。 | B | B |
| | | 基礎学力の定着を目的にした、マナトレを通年で実施する。 | A | 基礎学力の定着を、一年間通年で実施できたが、進路マップで顕著に表れるよう各月ごとに担任がチェックすることも必要と考え | A | B |
| 学校関係者評価者による意見 | | 大学(国・私)、短大、専門学校、就職と幅広い生徒のニーズに対応していると思う。基礎学力が低下して来ているので、将来につながる学習のモチベーションが大事であると思う。更なる対応をお願いしたい。 | | | | |
| 8.家庭・地域との連携 | 地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。 | 地域行事やボランティア活動への生徒参加を奨励し、地域との交流を図る。また、各部署で目標を決めて取り組む。 | B | 特定クラブに偏りがちなボランティア活動を全クラブに広げて行きたい。 | A | B |
| | | 学校の各種情報を保護者や地域の方々に発信する。 | B | ネットにおける学校情報の更なる配信を検討していきたい。また、文化祭における地域のあいさつ回りの範囲を広げたい。 | A | B |
| 学校関係者評価者による意見 | | ボランティア活動の情報発信が不足しているため、ホームページ等で紹介して欲しい。特定クラブだけでなく、全てのクラブがボランティア活動が出来たら良いと思う。また、地域と密着した活動に力を入れて欲しい。 | | | | |
| 9.学校独自の活動 | 建学の精神に基づき広くキリスト教主義の理解を広める。 | 全校礼拝は全職員・全生徒が聖書・讃美歌持参で出席する。 | A | 聖書・賛美歌を年度当初に確認するとともに、放送による呼びかけは、次年度も継続したい。 | A | A |
| | | 宗教委員による司会・会場準備と説教者の確認をする。 | A | 説教者の都合を早めに確認したい。また、臨時で、依頼可能な牧師を増やしておきたい。 | A | A |
| 学校関係者評価者による意見 | | 日頃から、愛と奉仕の精神が大切であると思う。宗教教育により、心の豊かさを培って行くことが望ましい。 | | | | |

※達成状況は教職員による学校評価アンケートや保護者・生徒のアンケート、1年間の業務遂行状況を勘案し校長がA～Dの評価をしたものである。(A 適切である B おおむね適切である C あまり適切ではない D 全く適切ではない)

※学校関係者評価は自己評価の適切さと改善策の適切さについてAからDの評価をしたものである。(A 目標を十分達成している B 目標を達成しているが改善の余地がある C 目標を達成するには幾つかの課題がある D 課題が多く改善が必要)